

内容評価細目の第三者評価結果 【保育所版】

A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程の編成		
1	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a
<コメント> 保育課程は保育所保育指針にもとづき法人系列の保育課程を参考にしながら、年度はじめに職員会議に図りどのような園にしたいか、ねらいや特色などを全職員で検討し当園に合ったものを策定している。		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
2	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
<コメント> 園全体が明るく、保育室及び廊下全部がクッションフロアで、全保育室床暖房が施され、指はさみ防止ドアを設置し転倒や怪我予防に配慮している。各クラスごとにコーナー遊びができるスペースを設け興味を引き出している。		
3	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
<コメント> 保護者とは連絡帳や送迎時のコミュニケーションを大切に職員は申し送りで情報の共有を図っている。特に乳幼児の午睡は5分置きに確認を行いSIDS(乳幼児突然死症候群)の予防に努め、きめ細やかな関わりと援助を行っている。		
4	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	a
<コメント> 乳児室・幼児室にトイレが隣接しトイレトレーニングがスムーズに行える環境になっている。2歳以上は定位置に一人ひとりのタオルが掛けてあり、進んで手を拭くことや座って歯を磨くこと、マットを敷いてパンツはき訓練などの方法を工夫し生活習慣を習得できるようにしている。		
5	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
<コメント> 今年度は子どもが自発的・意欲的に活動できるよう力を入れ各クラスにコーナー遊び場を設け、戸外の砂場遊びやプール遊びができる環境を整えている。4・5歳児は近くの菓子工場へ見学に出かけ、社会体験を得る機会を作っている。		
6	A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<コメント> 0歳児の入園時には午睡時間のずれがある事などに留意し、子どものパターンに合わせ睡眠が取れるよう配慮している。子どもの怪我など職員での判断が困難な場合は嘱託医と連携を図っている。保護者には子どもの1日の様子を詳しく伝え、信頼関係を築くよう努めている。		
7	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<コメント> 子どもが主体的に遊べる手作りおもちゃコーナーを設け、温かみのある素材で楽しめるよう配慮すると共に、保護者から自宅での子どもの様子を聞くなど情報を共有しながら保育をすすめている。		
8	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<コメント> 各クラスのコーナー遊び場を常に設置し作ったブロックや粘土作品は途中でもそのままにして置き、引き続き作ることができる環境を整えている。集団の中で友達との関わりが育み、子どもの得意分野を引き出すカリキュラムを設定している。		
9	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<コメント> 発達障害のある子どもには、法人本部の発達支援チーム巡回指導や市の発達支援指導等の専門家のアドバイスを受けながら、個別指導計画を作成して支援している。給食の食欲不振の時は食器を変えてみるなどの工夫しながら対応しており、徐々に変化が見られる。		

内容評価細目の第三者評価結果 【保育所版】

10	A-1-(2)-⑨	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<コメント> 19時30分までの延長保育を実施し、急な延長にも対応しており、希望者には捕食(おにぎり、フルーツ、飲み物など)の提供もしている。異年齢児と一緒に遊ぶ良い機会にもなっている。			
11	A-1-(2)-⑩	小学校との連携、就学を見通した計画に基づき、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b
<コメント> 小学校が隣接しているという立地条件に恵まれ、ほとんどの年長児が同じ小学校に入学することも考慮して連携が必要と考えられ、早急な取組に期待したい。年長児の午睡は年明け以降から徐々に減らし、体内時計を慣らしていく予定でいる。			
A-1-(3) 健康管理			
12	A-1-(3)-①	子どもの健康管理を適切に行っている。	a
<コメント> 入園時に健康調査票を提出してもらい、子ども一人ひとりの健康状態を把握している。保護者とは連絡帳や送迎時に情報交換し、職員間も共有して健康管理に努めている。園だよりに健康に関する注意事項も記載している。			
13	A-1-(3)-②	健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	a
<コメント> 内科検診(年2回)、歯科検診(年1回)、尿検査(年1回)が嘱託医によって実施し、身長・体重測定は毎月行い結果はすべて保護者に報告している。			
14	A-1-(3)-③	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a
<コメント> アレルギー対応マニュアルが作成しており、給食、おやつとも食品成分を細かくチェックし、一人ひとりのトレーには禁止食が表記してあり完全除去の対応を行っている。			
A-1-(4) 食事			
15	A-1-(4)-①	食事を楽しむことができるよう工夫している。	a
<コメント> 4, 5歳児を対象に毎月クッキング保育を実施し、食材を触って、切って、調理して食べる喜びを味わう体験学習をしている。給食、おやつは毎日手作りで子ども達も楽しみにしており、サンプルは玄関に展示し帰りの親子会話の話題にもなっている。			
16	A-1-(4)-②	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a
<コメント> 給食は法人グループ会社に業務委託して園で手作りし、季節感のある全国共通メニューで食物アレルギーにも対応して食材にもこだわって提供している。調理の様子は子ども達も興味深く、ガラス越しに見学している。			

内容評価細目の第三者評価結果 【保育所版】

A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
17	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a
<コメント> 保護者とは連絡帳を用いて毎日の保育内容や情報を共有している。廊下に子ども一人ひとりのおたよりポストを設け送迎時に配布するなど、また保護者会や個別面談の機会等で連携を図っている。		
A-2-(2) 保護者等の支援		
18	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a
<コメント> 保護者からの相談は職員みんなで共有し支援の状況は記録し、安心安全に配慮したコミュニケーションを密にしている。今のところ一時保育や延長保育の希望は少ないが、いつでも受け入れられる体制を整えている。		
19	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a
<コメント> 虐待マニュアルをもとに朝の受け入れ時に保護者との会話からアザや傷などがないか確認し保育日誌(生活記録)に記入して、早期発見・予防に繋いでいる。疑いがある場合は子ども家庭支援センターと連携を取る仕組みができています。		

A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		
20	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a
<コメント> 実践状況は職員会議やケース会議で振り返り見直しをしている。また本部からの「査定シート」で自己評価を行い専門性を高め質の向上に努めている。		